

おしゃべりサロン「相互塾」(第55回) <入場無料>

共催: 調布市



～ 平和の礎展 2004 関連事業 ～

『市民が語る私の戦争体験』

老いも若きも大歓迎。Face to Face を大切に!

〔I〕シベリアでの抑留体験

日時: 平成16年8月7日(土) 午後2時～4時
場所: 文化会館 たづくり 9階 研修室



語り手: 佐々 正さん: 「青春の地獄の底から生還できたよろこび」
アンゼルスカヤ収容所、現在、世田谷文芸クラブ理事、烏山短歌会代表、

相原 茂さん: 「再びこの様な悲惨な戦争の無い世界を願って」
ムリー地区とホルモリン地区、元国鉄職員

〔II〕ジャワ島での抑留体験

日時: 平成16年8月8日(日) 午後2時～4時
場所: 文化会館 たづくり 10階 1002会議室



語り手: 小山芳雄さん: 「大東亜戦争に参加して」
バンドウン市、現在、日本インドネシアNGOネットワーク、ジャカルタ福祉友の会

大庭定男さん: 「JSP(日本降伏軍人)体験と戦後60年」
バンドンとタンジョンプリオク、現在、軍事史学会、日本英学史学会会員、

【お話いただく内容については、その概要を裏のページにあります。ご覧下さい】

【 定員: 両日とも当日先着 40人 】



主催: 特定非営利活動法人 調布まちづくりの会

共催: 調布市

問合せ先: 森下 政信 (TEL&FAX 83-9993)

調布市生活文化部市民参加推進室文化振興係

(TEL 81-7139)

(ウラへ続く)

お話いただく方々のお話の概要

佐々 正さん：「青春の地獄の底から生還できたよろこび」

爆弾を 抱き戦車に 体当たり せんとて走りし 青春の闘

神州不滅を信じ、ソ連戦車に体当たりしようとして果たせず、捕虜になり、シベリアに送られました。

黒パンとキビのめし、じゃがいもの粗末な食物と、苛酷な炭坑労働のため、多くの戦友が死んでゆきました。

「あやまちは2度とくりかえしません」の原爆碑に書かれた誓いを忘れず、反戦平和のうったえをつづけています。

相原 茂さん：「再びこの様な悲惨な戦争の無い世界を願って」

戦争が終ってからすでに、60年に近くなります。日本はこの間、一度も戦争の無い、世界で数少ない平和な国として、繁栄してきました。

現在は大部分が戦争の知らない世代になってきました。それにひきかえて、シベリア抑留等、戦争の悲惨な体験者も年々少なくなって参りました。戦争は絶対にあってはならない。シベリアでの、厳しい寒さ、劣悪な給与、過酷な労働、偏向な思想教育等少しでも話させていただき、再びこの様な悲惨な戦争の無い世界になるよう願っています。

小山芳雄さん：「大東亜戦争に参加して」

①抑留体験

武装解除後バンドウン作業隊として残留 昭和22年4月帰国

②対インドネシア進攻の特徴

- ・オランダ350年の植民地圧制下で苦しむ民衆向け放送宣伝作戦「インドネシア・ラヤ」…祖国よ起て…
- ・落下傘部隊による石油資源・飛行場確保

③インドネシア独立戦争と残留日本兵・独立後の状況

付) ニューブリテン島を中心とする南方作戦

大庭定男さん：「JSP(日本降伏軍人)体験と戦後60年」

私たちはインドネシア・ジャワ島で終戦を迎え、それから約2年間、英軍、オランダ軍の下で強制労働に服した。彼らは我々をJSPとして、戦時捕虜以下の報復的な厳しい取り扱いをした。

戦後、私は商社の駐在員、その後も長くロンドンに駐在、その後も毎年のように英国、オランダに旅行、JSPにつき調査し、講演を行ったりして、共に反省してこそはじめて和解に達することを訴えている。

著書：ジャワ敗戦抑留日誌(竜溪書舎1996)、戦中ロンドン日本語学校(中公新書1996)

☆「相互塾」これからの予定

	月日	曜日	テーマ(仮題)	語り手
第56回	9月27日	月	最近の少年たちの夢と悩み	松尾直博(東京学芸大学助教授)
第57回	10月25日	〃	地域通貨さ～らと地域コミュニティ	尾辻義和(さ～らの会事務局長)
第58回	11月29日	〃	ありがとう大地!「お惣菜は家族愛」	三室洋子((株)ミムロ取締役)
第59回	12月20日	〃	中高年の山登り	磯田武雄(調布FM事務局長)
第60回	1月24日	〃	愛知万博オリエンテーリング	門伝良男(調布市オリエンテーリング協会会長)

◇ NPO法人 調布まちづくりの会 (新入会歓迎)

〒182-0022 調布市国領町3-10-14 TEL&FAX: 0424-88-4022

ホームページ: <http://www.annie.ne.jp/~machikai/>

調布まちづくりの会は「市民の手でまちづくりを」という思いから、その前身は1998年に発足しました。2000年4月には特定非営利活動法人として、新たにスタート。「住み続けたい緑につつまれるまち調布」実現のため、調査研究、提言、情報提供などを行う、誰でもが参加できる開かれた自主活動グループです。市民とのシンポジウムやまち歩きなども行っています。

